

# 活動レポート

## 青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会副委員長 木本光則

### —青年技術士交流委員会の一般の方向け「公開型の講演会」— 「北の技術を語り継ぐ～雪を楽しむ・暮らしを守る～」

青年技術士交流委員会では、一般の方々向けに「技術士」を知ってもらうこと、またより一層、技術士が世の中の“役に立つ”こと等を目指し、知名度向上等を目的とした広報活動を様々な形で実施しています。

本稿では、平成 28 年 12 月に開催した公開型の講演会の様子を報告します。

#### 1. 開催概要

○公開型講演会 「北の技術を語り継ぐ  
～雪を楽しむ・暮らしを守る～」

○日時：平成 28 年 12 月 4 日(日)  
15：00～16：30

○場所：sapporo55 ビル 1 階インナーガーデン  
(北 5 西 5 紀伊國屋書店札幌本店前)

○参加人数：30 名程度

○プログラム

- ・司会進行役からの雪害と対策技術の紹介を実施するとともに、講演者からの雪を活用する技術の紹介を実施。

講演者：

一般社団法人北海道開発技術センター  
藤井 美智子 技術士補(建設部門)  
ボランティア活動による広域交流  
イノベーション推進研究会  
中前 千佳 技術士(建設部門)

司会進行：

(株)雪研スノーイーターズ  
齋藤 佳彦 技術士(建設部門)  
ウィンターライフ推進協議会  
永田 泰浩 技術士(建設部門)

#### 2. 導入：雪害とその対策技術

12 月という開催時期を勘案し、これからの時期で問題となる大雪等の災害(雪害)について、どういことが課題となるのか、またそれらに対する対策としてどういう技術があるのか、等を、司会進行役の齋藤技術士と永田技術士(いずれも、青年技術士交流委員会幹事)より紹介しました。

普段より防雪やツルツル路面对策等の業務に携わっている 2 人からは写真や事例を使い、一般の方にもわかりやすいよう説明を行いました。



写真-1 司会進行役の永田技術士と齋藤技術士



写真-2 雪害とは？について解説する永田技術士

### 3. 雪をアートとして楽しむ取組

#### 「ウインターサーカス」の紹介

続いて、(一社)北海道開発技術センターに所属する藤井技術士補より、雪をアートとして楽しむ「ウインターサーカス」について講演いただきました。

雪国で生活する人にとって雪は邪魔者という印象が強いですが、それをアートの素材として活用し、逆に「楽しむ」という取組で、アートとしてこれまで制作されてきた作品の写真等を紹介いただきました。どれも本格的なもので、アートのデザイナーさんと地域の方々が連携して作成し、日が経って形が崩れていく(溶けていく)のも含めて作品であるという解説が印象的でした。



写真-3 講演いただいた藤井技術士補

### 4. 雪かき(雪はね)そのものを楽しむ取組

#### 「雪はねボランティア」の紹介

続いて、ボランティア活動による広域交流イノベーション推進研究会の中前技術士(青年技術士交流委員会幹事)より、雪かき(雪はね)という活動そのものを楽しむ「雪はねボランティア」について講演しました。

自身では雪かき等が困難な方の自宅周り等を雪かきするボランティア活動なのですが、それにその地域の活性化につながる体験等を企画として織り込み、札幌からボランティアツアーとしての一種の旅行企画のようにパッケージ化した活動です。

この講演を聞いた後、青年技術士交流委員会の幹事も数名でそのツアーに参加してきましたが、地域の方々や参加メンバーとの交流等、非常に温かい経験をすることができました。



写真-4 講演した中前技術士

### 5. おわりに

ここ数年継続して実施している紀伊國屋書店さんの目の前での公開型講演会ですが、青年技術士交流委員会としてもまだ試行錯誤しながら実施しています。オープンな講演会場のため、多くの一般の方々がふらっと立ち寄ってくれたり、足を止めて少しの時間ですが聞いて行ってくれたり等がありましたし、また子供向けの「技術士ノート」を配布する等、「技術士」PR等は十分にできたと認識しています。

また、「雪」という北海道民にとって比較的身近な話題を対象に実施したこと、そして「ウインターサーカス」や「雪はねボランティア」等の「雪を楽しむ」という活動について写真等で紹介できたことで、より一般の方にも伝わりやすいものにできたのでは、と考えています。

#### 青年技術士交流委員会から“スピノフ”、「技術者のミライ研究委員会」が発足しました

これまで青年技術士交流委員会で“試行”してきた理科系教育現場における支援事業「技術士を知ろう」について、平成29年度より本格実施するために、その企画・運営、マネジメントを担う新組織として、社会活動委員会の中に新たな研究委員会を立ち上げました。今後は青年技術士交流委員会ともども、どうぞよろしくお願い致します。



#### 技術者のミライ研究委員会

代表：小澤 正志 幹事長：木本 光則

平成29年1月27日北海道本部役員会承認